



# 伊那市国土強靱化地域計画

- I 行政の取り組み
- II 地域防災の取り組み
- III 福祉と防災の連携
- IV 企業との連携・地域資源の活用



令和6年12月20日  
長野県伊那市  
総務部危機管理課

伊那市 危機管理課 小松 剛  
人と防災未来センター Disaster Manager  
危機管理士1級  
地域安全学会員・日本危機管理防災学会会員

## 長野県伊那市



昭和36年豪雨災害



昭和57・58年台風災害



平成18年豪雨災害

### <伊那市の紹介>

- ・平成18年に伊那市、高遠町及び長谷村が合併し新「伊那市」が誕生。長野県で3番目(約668km<sup>2</sup>)の面積。
- ・2つのアルプス(中央アルプス・南アルプス)に囲まれ、市の中心部を段丘地形を形成する一級河川天竜川・三峰川が流れる。田園と森林風景が広がる人口67,008人(令和3年2月1日)の地方都市。
- ・長野県南部に位置し、東京・名古屋のほぼ中間に位置する。交通・物流の要として、中央自動車道や国道153号などの幹線道路が整備されている。

### <防災・減災の課題>

- ・自主防災組織(カバー率100%)が主体となり、「逃げ遅れゼロ!」を目指す取り組みを進めているが、人口減少や高齢化が進み、災害時の支援者の確保など災害対応への不安が目立つ。個の対応では限界があるため、市では地域力を基盤とした災害対応体制の強化を図っているが、防災活動の負担軽減や継続的な取り組み方法の支援など実態に即した対応を求める声も多い。

# 近年の主な災害



- ↖平成30年 地すべり
- ←平成30年 土石流
- ✓令和元年 台風災害
- 令和2年 豪雨災害
- ↗令和3年 豪雨災害
- 令和4年 豪雪
- ↘令和5年 梅雨前線



INA-city

写真②  
北新北林地区

## 災害に強いまちづくり（近年の主な事業）

防災コミュニティセンター整備

消防団装備の充実

実践的な防災訓練の実施

防災士の資格取得補助

自主防災組織の活性化

小学生～高校生対象防災教育

同報系防災行政無線の更新

国土強靱化地域計画の更新

防災おでかけ講座

地域防災コーディネーター養成



## 具体的な取組み

- ・福祉防災の推進
- ・外国人向け防災
- ・企業等との連携 など

関係者と協力して、  
取組みを具体化していく

2022ねん  
がいこくじんの みんなと  
さいがいを かんがえる

2022年12月3日  
ながのけん、いなし、ききかんなりか  
配布用

「ひなん」とは？  
「あんぜんな ばしょ」へ いくこと！  
「きけんな ばしょ」から はなれること！  
どこに いきますか？

4. 周囲の声（庁内職員・住民・企業）

- 言語の理解や、自助に加えて「共助」の認識の構築など課題はあるものの、外国人支援者や参加者からは継続的な講座の開催を希望する声が多い。

さいがいの きげんは ふえる

この さいがいのから プラジムも、じんびを はらめろ  
さいがいのことを かんがえないと、いけない

2011年1月の リオデジャネイロはしきで、どしゃぶりの雨が、おそく、やく100mm、どしゃぶりが、やく1000mm、しんた

福祉関係者との連携による避難行動要支援者対応に向けた具体的な検討内容

1. 整理・検討の背景

- 市では平成 18 年度から、以下の「災害時住民支え合いマップ」と「保健福祉支援カード」による災害時の要配慮者等の支援の取組みを進めている。
- 「災害時住民支え合いマップ」は、災害時・緊急時に要配慮者等の支援が必要な人に対して「いつ」、「誰が」、「どのように」安否確認や避難行動の支援を行うかを平時から各地域で話し合い、支え合いマップとして見える化、地域住民の間で共有し、迅速な避難行動等につなげるものである。
- 市と社会福祉協議会が連携し、各地域（区又は町内会単位）での作成を進めているが、作成の進捗は各地域により濃淡がある状況である。

(災害時住民支え合いマップ (例))



**国土強靱化地域計画  
策定・改定ガイドライン(第2版)**

令和5年10月  
内閣官房国土強靱化推進室

## ①地域防災力強化【地域と行政の連携4本柱】

市一体でレベルアップ！

地域と一緒に！



活動指導・助言！

地域の身近な支援者！ 8

# ①地域防災力強化【地域の3つの取組み】

地域に合った形（ルール）をつくる



高遠町山室区  
はら いちろう  
原組総代 原 一郎さん

**1 地区防災計画**  
地域の特性に合わせて作る防災計画です。避難行動時のルールや平時の訓練内容など、地域における防災の取組みを決めます。

災害時にそれぞれどのような行動を取るのか決めてあるので、一人でもどうしたら良いかわからないということがなく、平時の安心感につながっています。



高遠町上山田区  
上山田社会福祉協議会  
にしむら ひろし  
会長 西村 博さん

**2 災害時住民支え合いマップ**  
自力では情報が得られない・避難できないなど、避難行動時に支援が必要な方を把握し、近所や地域で支援する体制を作ります。

マップの作成を通して地域のつながりが強まり、「お互いに家族である」という意識を持って防災活動に取り組むきっかけとなりました。



御園区  
みこしば わたる  
区長 御子柴 渉さん

**3 地域版タイムライン**  
災害時に発信される情報に応じた、地域での行動を決めます。地域の動きを知ることで、自分(個人)の行動や役割把握にもつながります。

地域の取組みがコンパクトにまとまっているので、住民にも理解してもらいやすいです。警戒レベルに応じた訓練をする際にも、指示を出しやすく作っています。



**地域防災力を高める**  
災害から命を守るためには、まずは、自分の命を自分で守る行動が基本です。しかし、一人だけでは限界があるため、家族や地域のつながりが強い味方となります。そのようなつながりを強化することが、多くの命を救うこととなります。「皆で行動し、皆で逃げると決める」ことで、防災力の高い地域を作りましょう。  
問 危機管理課 防災係

# ①地域防災力強化【自主防災組織強化】

伊那市『防災おでかけ講座』をご利用ください！

## 平成30年度 「伊那市自主防災組織連絡会」発足



・防災活動継続の方法は？  
・具体的な取組み方法は？

- 180組織（組織率100%）が一堂に会し、
- 全組織の取組みレベルを上げる（足並みを揃える）
  - 他の組織の活動を知り、情報交換や組織間連携を図る
  - 合同で研修や訓練を行い、情報共有の場を作る

**講義**  
まずは「知る」ことから、防災意識向上を目指します！

- ①伊那市の防災対策を知ろう！  
・伊那市の防災、減災の取組みや事業の説明をします。
- ②みんなの防災対策！  
・親子、お子さん向けの防災対策をお伝えします。
- ③災害を学ぶ！  
・地震、風水害のメカニズムや被害などをお伝えします。

**体験型**  
みんなで一緒に考えよう！ひとりでは心細くて不安だけど、みんなと一緒に考えれば強くなります！

- ④災害図上訓練（D I G）  
・地域の情報を共有し、「危険」や「弱み」を確認することで具体的な対策を考えます。
- ⑤避難所運営ゲーム（HUG）  
・避難所で起こる様々なできごとに対応しながら、適切な運営方法を考えます。
- ⑥災害対応ゲーム クロスロード  
・災害時等の難しい判断が迫られる状況を体験し、災害を自らの問題として考えます。

**個別対策**  
地域の課題、困り事の解決、実効性のある対応に向けて、具体的な、長期的な取組みを行います！

- ⑦自主防災組織活性化を考えよう！  
・実働的な組織運営、継続的な活動を考えます。
- ⑧「災害時住民支え合いマップ」に取り組もう！  
・逃げ遅れゼロの初動対応、安否確認の体制を作ります。
- ⑨「地区防災計画」を作成しよう！  
・一人ひとりが主役の地域防災の体制を作ります。
- ⑩長野県自主防災アドバイザーに相談しよう！  
・地域の悩みや課題を共有し、助言します。

【防災おでかけ講座】  
地域へ出向き、一緒に課題解決

R4年度59件／参加者 1,380名  
R5年度74件／参加者 1,987名  
※近年の実績



## ①地域防災力強化【防災人材育成】



【伊那市地域防災コーディネーター養成】  
最新の知見や専門知識を学び、地域レベルで  
防災活動に活躍できる人材を育成  
(全6講座・必修含む4講座以上受講で修了)

R 1 年度30名・R 3 年度15名  
R 4 年度22名・R 5 年度28名  
R 6 年度28名

目指せ1,000名！  
すそ野を広げ、底上げを図る！  
長期的に防災に関わる人材確保



11

## ②行政の取組み【地域や民間との連携】



【伊那市総合防災訓練】

- 防災士による  
防災資機材設置訓練
- ✓関係機関による  
保育園児・小学  
生向け防災教室
- ✓関係機関・団体との  
連携



【災害時応援協定】

迅速な支援体制の構築などを目的に行政機関  
及び市内外の企業と協定を締結

91協定 (94団体) ※令和6年12月31日現在



行政の弱いところをカバー  
専門分野等行政ではできないところ  
平時～災害時の連携

## ②行政の取組み【情報発信の多重化】

**新着情報**

- 2024年4月15日 伊那市地域安心メールの配信システムが新しくなりました
- 2024年4月15日 「伊那市防災アプリ」運用開始
- 2024年3月18日 令和6年能登半島地震に関わる災害支援状況

新着情報一覧

**防災行政無線**

**お知らせ** 防災・防犯・救急・気象に関する新しい情報を掲載しています。



- ③ 安心安全メール※公式LINE
- ④ 伊那市防災アプリ

- ① 公式HP
- ② X (旧Twitter)



- ⑤ ヤフー防災アプリ
  - ⑥ 有線放送
  - ⑦ 防災ラジオ
  - ⑧ L字放送
- 情報発信の多重化

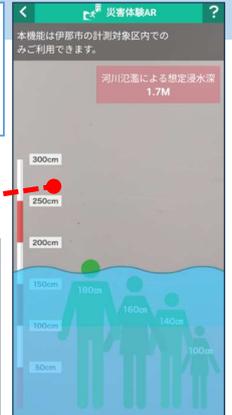


## ②行政の取組み【伊那市防災アプリ】

災害ごとのハザードマップが確認できます。災害情報や状況写真、避難所開閉状況が確認できます。



位置情報を活用し、現在の浸水想定を確認できます。平时的の備えや防災教育に活用します。

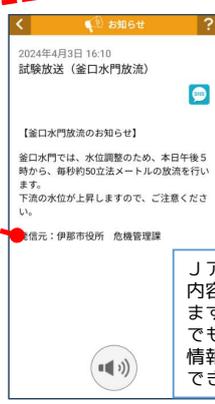


災害時に活用できるサイトを掲載しています。情報収集ができます。



必要な情報は自ら取る！

簡単な安否メッセージや位置情報を家族や支援者に連絡できます



Jアラートや防災行政無線の内容を音声や文字で確認できます。防災無線が聞こえなくてもお手元で確認できます。情報はメールやラインで共有できます。



アップルストア

グーグルプレイ

## ②行政の取組み【伊那市防災気象情報】

伊那市防災気象情報

**1-a 気象庁発表**

**土砂災害**  
今後の情報や高田の状況、雨の降り方に留意してください

**洪水災害**  
今後の情報や高田の状況、雨の降り方に留意してください

・説明

・キキクル（危険度分布）

**2 雨の実測情報**

**連続雨量分布図**  
2023/05/24 18:40

飯田（ア）

・説明

・前1時間雨量・連続雨量・グラフ

**3 水位（天竜川沿い）**

**水位情報**  
05/24 18:40

釜口水門  
放流量 18.06 m<sup>3</sup>/s  
水位 0.86 m(→)

伊那 0.28 m(→)

伊那富 0.43 m(→)

沢渡 0.01 m(→)

北殿 3.94 m(→)

・説明

・リンク

**4 伊那市の天気**

	市役所 周辺	高尾町総合支所 周辺	辰谷総合支所 周辺
<b>きょう</b> 05/24	20°C 10°C	20°C 10°C	20°C 10°C
<b>あす</b> 05/25	20°C 12°C	20°C 12°C	20°C 12°C

・説明

・この先 24時間のお天気

**5 雨雲の様子**

24日22:00予測

・説明

・すべて表示（伊那市・中尾・辰谷）

**6 河川カメラ（天竜川沿い）**

伊那水竹観測所  
伊那富水竹観測所

沢渡水位観測所  
北殿水位観測所

・説明

・全15箇所河川カメラ

伊那市に特化した情報をまとめています！

2024 INA-CITY

## ②行政の取組み【新技術を活用した対応】

### 伊那市 遠隔医療を基盤とする“モバイルクリニック”構築事業

**コンセプト**

- 遠隔医療専用車としての次世代型モビリティのサービスモデル化
- 「人」や「モノ」の移動媒体から「コト」の提供媒体へ
- 医師側：車を所有することなく、必要な時に必要なだけ対価を支払って利用（シェア）
- 患者側：車が地域へ出向き、車内空間でのアトリウムサービス（医療）を享受
- 健康長寿社会の未来を拓く医療型MaaSプラットフォーム
- 医療最前線：重症化前の病状改善、過剰医療と過剰医療の政策的トリアージ
- 医療高度化：オンラインによる専門医療の受療機会創出

**空飛ぶデリバリーサービス**  
伊那ドローン配送事業

1. ケーブルテレビの画面で注文  
支払い：ケーブルテレビ利用料と一緒にOK

2. 地域配送拠点から最寄りの公民館へ配送

3. 取りに行けない場合はボランティアが配達

**ワークフロー** クリニカルバスの最適化～予防・検査・診断・投薬・治療～  
【地域包括ケアとの協働】

**車内搭載機能**

通信と情報工学の融合【テレマティクス】

- 運行管理システム
  - プロンプ情報の伝達
  - トランスログの提供
- スケジュール管理（JTBバス東武株式会社）
  - 診療（医師・看護師）
  - 配車（ドライバー、車両）
- 情報共有クラウド（11号電子診療連携サービス）
  - 患者情報
  - 診療記録
- 医療機器等（株式会社フィリップス・ジャパン）
  - 心電図モニター
  - 血圧測定器
  - バイタルモニター
  - デジタル聴診器
  - AED など
- オンライン診療・療養指導（株式会社アクトロジクス株式会社）
  - テレビ会議システムによる問診
  - 診療から看護部への指示
  - 看護部による診療補助支援

**バス運行**

- 行政相談
- 証明書発行
- マイナンバーカード申請受け付け

市役所 ネットワーク

バス運行

日頃からの多職種連携

福祉のみならず医療系との連携も欠かせない！



## ②逃げ遅れゼロを目指す「行政」の取り組み（企業/団体/学生）

- ・関係者との連携（役割確認・強化）
- ・平時からのネットワークづくり



災害VC設置・運勢訓練  
 ・伊那市  
 ・伊那市社会福祉協議会  
 ・民間：JVOAD  
 ・地域  
 の4者によるVC運営強化  
 研修を実施

これから始める方へ **入門編**  
**災害ボランティア養成講座**

第1回 11月21日(土) 9:00~11:30  
 災害ボランティアについて  
 実際は 自分のできること  
 装備品や準備品について

第2回 11月28日(土) 9:00~11:30  
 災害ボランティア体験  
 本の役割  
 暑を兼ねない思い出し体験  
 小さな量種を使った体験

第3回 12月12日(土) 9:00~11:30  
 自分の身を守るために  
 災害が起きたらどうして  
 身元にあるもので防災グッズ  
 を作ってみよう！

地域住民・地元企業対象の講座



H30台風24号  
 土石流災害  
 地区住民・地元  
 企業による作業

2024 INA-city

## ③共助を補う体制づくり

- ・地域全体で「被災者支援の意識化」
- ・支援者の育成、確保

近年の災害から得た教訓

### 地域内で「支援者を確保する」作業

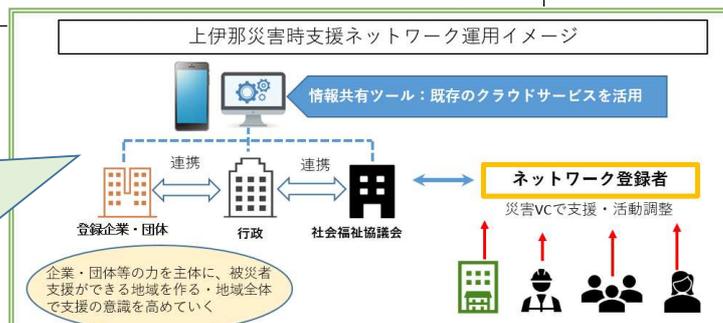
- ・感染症流行期、孤立リスクが高い・・・外部からの支援が得られにくい！  
 →近所で助け合う、地域で乗り切ることが最も確実で安心！
- ・平時から互いを知り、災害時には支援者になる意識を高める！
- ・皆で連携し、負担を減らしながら協力する準備を！
- ・その体制を「今から」整える！

企業BCPIにも関係！  
 「地域貢献」しやすい  
 環境づくり

様々な主体が連携することで  
 それぞれの負担も減る！  
 中間支援組織と連携

### 「環境づくり」

- ◆できる人・携わりたい人が活動・活躍しやすい環境づくり。
- ◆地域人材（資源）が支援活動にどうやったら参画できるのかを考える。



- 【平時の連携】
- ・研修や勉強会の案内
  - ・災害に関する情報交換
  - ・各団体からの情報提供

(Phase Free)

- 【災害時の連携】
- ・情報共有
  - ・被災地のニーズを共有
  - ・可能な支援を提供
  - ・要請に応じて対応